

# 河 邊

## 山は河辺村の生命線

### 洪水旱害を助ける人間

洪水はどこから  
心から

毎年洪水が出て困る事は  
お互よく知つている。そ  
れがはげ山が多くなつた  
お蔭だと言ふことも知つ  
ている。それなのに洪水  
を防ぐための植林をする  
のだと、意識して植える  
人が何人有るだろうか。

おそらく失礼だが一人も  
ないかも知れない。人間  
は慾の虫だから何でも儲  
けがない事はやらない。  
利益がなければやらない  
のだ。祖父母が苦心して  
育てた山林を切つて、何  
百萬円をふところにして  
悦に入つている人が必ず  
伐採跡地に植林するかと  
言ふと、案外そうでもな  
いようだ。最近木材景氣  
で植林意慾をおつてい  
るが、それでも今の向だ  
と日本の將來は何千年も

立たない内に、はげ山だ  
らけとなつて了うであら  
う。洪水は天災とあきら  
めてのん氣でいるが、そ  
の実は亂伐して後はほう  
りつばなしで、洪水の災  
禍を助けてゐるのが吾々  
人間共なのである。

忘れてならぬ 林の効  
用

山林は子孫のためには經  
済を助け、洪水を防ぎ、  
土砂の崩壊流失を防ぎ、  
空気を清澄にして、雲を  
呼び雨を降らし直接間接  
に人間生活に益する所は  
多い。又風致林として詩  
人の觀賞を買い俗人の寄  
つて憩いの場ともなる。  
時に大公望の隨喜する集  
魚林となり、或は邸宅を  
めぐらし部落を囲んで防  
風林ともなる。又街路林  
を成し都市田舎とを間わ  
す庭園に部屋に觀賞木と

第 2 号  
発行所  
河邊村公民館  
編 集 報  
河 邊 村 館 会  
編 委 員  
河 邊 村 15・9番  
電 話

して人の心を慰め優雅の  
心をひき起し教え来れば  
牧羊に暇もない。  
尙山林の副産物も見逃す  
事は出来ない。  
木を植えたら効果は  
てきめん

山に木がなくなると洪水  
が見舞い、旱害の訪れが  
ある。そして河辺村の人  
だけが木を植えても効果  
はてき面現われる。特に  
河辺村は全面積の九十%

は山林であり(四畝五畝  
町歩)林産物(木材木炭  
三極、椎茸その他)の收  
入は全収入の七〇%弱を  
占めており、山村河辺村  
の生命線だ。お互は今盛  
んに木を植えて山を守る  
う、國土を保とうではな  
いか。  
國土緑化は先ず河邊から  
!!緑の羽根は緑化運動の  
象徴であることを御認識  
願いたい。  
二元三、四 N 生

## 就学兒童を持つ父母へ

北小学長 都谷先生

終戦後の新しい日本と  
ともに誕生され、苦しい  
國の歩みと共に成長され  
學令期に達し希望の門出  
ともいうべき就学をせら  
れますことを、心からお  
祝い申し上げます。

これまで家庭でのみ生  
活していた幼児が、學校  
には入るといふことは、  
いわば社會人としての第  
一步をふみ出すことでも  
あり、就學兒童をもたれ  
る親達の不安も一入と考  
えます。それには親も子  
も入學の準備について十  
分心構えをつくり、これ  
からの學校生活が楽しく  
伸び伸びとしたものにな  
るよう念願します。

(一)新しい教育のねらい  
1) 學校になれさせるこ  
と  
2) 學校で行う「しつけ  
」は叱つたり泣かせた  
りするような様ではな  
く、遊んでいて自然に  
覺える躰をやつていき  
ます。

(二)遊ばせながら教育す  
る  
(三)ぜひ心得ておいて  
いただきたいこと

何ごとも初めが大切で  
す。新しく入學する幼兒  
に「學校はやかましい所  
だ」「先生はこわい人だ  
」といった氣持は絶対に  
持たせてはなりません。  
それどころか學校では、  
どんなにしたら、學校は  
楽しい所だ、先生達は  
みんな親切で遊びあいて  
相談あいてになつていた  
だけけるよい人々になるよ  
う毎日けんめいに研究し  
ているのです。皆さん方  
もお子さんと一しよに、  
新しいいまの學校に入學  
する氣持ちで、次の事が  
らをしつかり心得ていた  
だきたいと思ひます。

1) 學校は楽しい所だ  
この考えをお子さんに  
持たせて下さい。學校  
の先生に言うぞ、學校  
なことしたら先生に叱ら  
れるぞ、のおどかし文句  
は百害あつて一利なしで  
す。

(二)こんな子供であつて  
ほしい  
學校は楽しいところ、  
先生は親切な人だと思ひ  
こませると、しぜん先生  
に親しみを感ず學校を樂  
しく胸にえがくことでし  
よう。

(イ)名前を呼ばれたら元  
氣にはつきりと返事がで  
きるように、  
(ロ)「あなたは誰?」とき  
かれたら自分の名前がは  
つきり言えるように、  
(ハ)自分の名前を書いた  
「かな」が讀めるように、  
(ニ)人のお話が落ちつい  
てきかれるように、  
(ヘ)自分の持物のしまつ  
ができるように、  
(ト)用便がひとりでき  
服やズボンも自分できち  
んとつけられるように、  
(チ)友達と仲よく遊べる  
ように、  
(三)勉強はこれくらいで  
きるように、  
入學間近になつて子ど  
もの心をいらだたせるよ  
うなやり方はいけません  
親の顔をよよく見せ  
競争や、必要以上の先走  
つた指導は、教室の中で  
困つた子どもになりがち  
です。

(イ)「かな」書きの自分の  
名前が讀めたり書けたり  
すること  
(ロ)十までの数が一  
つの物に結合して数えら  
れること  
(ハ)鉛筆の持ち方になれ  
させておくこと  
(チ)鉛筆を握ることを喜ぶ  
ように、何でもよいから  
しつかり書かせる  
次面に續く

★前面より続き★

指先の訓練をしつかりしておくこと

(二)五十音の正しい発音とそれに結びつく「かな」文字が読めるように

(4)家のことも必要なくとは正しく知らせておくこと

(イ)父母の姓名 (ロ)きようだいが同じ 学校の何年にいるか

は前もつて知らせておく 紙面のせいやくで意をつくせません。お子様の御入學に多少とも参考となりませすれば幸いです。

子供の遊び場を作ろう

このたび「子供の遊び場を作ろう」と云う運動が愛媛新聞社の主催で...

短歌 みなかみ集

人知れずしのぶことあり木蓮の花咲きそむる季節かと思ふ 戸田 薫

第二回製炭講習會

修了者には修了證を

去る三月一日から三日まで公民館主催により、第二回製炭講習會が...

講習終了者には後日公民館長より講習修了證を送付することになつてい

公民館主催 第三回製炭講習會

と き 四月中旬 ところ 北平神納附近 講師 池田技師

棕枙を枯れない様に植えるには

公民館名 本

「棕枙栽培の有利なことはよく分るが、先年二百本植えてたが、八本ついで...

# 河 辺 村 森 林 組 合

寺 師 利 右 エ 門

森林組合は昭和十六年に  
森林組合法に依つて誕生  
した訳である。誕生當時  
は戦正にたけなわという

よい甚だしいのは自分の  
山の木を自分で切るのに  
干渉はうけないとか、種  
々耳にする。

之は一應無理からぬ事と  
は思うが現在の伐採量は  
生産量の二倍半位の割で  
伐採されつゝあるのでは  
伐採を等閑に付したなれば  
由々しき問題となる譯で  
取締りにおいても逐次嚴  
重を極めつゝある状態で  
届出は必ず伐採期日の二  
ヶ月前と云う事を前提と  
して申請を願いたい。現  
在に至つても少々乍ら無  
届伐採や伐採二、三日前  
に届出る者、伐採最中に  
届出る者等あつて組合で  
も処置に窮する。すでに  
法が發布されてからかな  
りの期間がたつたので酌  
量の余地もなく組合とし  
ても辯護に一苦勞するの  
である。それから、許可  
林分届出制のもの判別  
はずで御承知の事と思  
うので省略するが樹令に  
よつて、はつきりするの  
のであるから充分氣をつ  
けてもらはないとお互に  
日時を費す事となる本年

の許可林分の届出は二月  
二十日をもつて第一回の  
申請を締切つたが、約五  
千石程度残つているから  
来る六月中に届出て貰い

たい。以上簡単に申上げ  
ました。どうか政府の  
意図方針に協力し明らか  
い日本再建のため、格段  
の御協力をお願いする。

前号に續いて今後の山村  
農業について申し上げま  
しよう。

## 今後の山村農業の

ありかたについて  
農委書記 高 橋

余り堅くならない。従つ  
て家畜が好んで喰うもの  
である。日陰は大体全体  
の三〇％位が適當である  
。樹木の植付には利用  
上便利な様に防風林兼用  
には風向にも注意して千  
鳥型、並木型に樹種に依  
つて植える。大体十五尺  
位の間隔をおいて植える  
のが良い。餘り密植する  
と陰が深くなり樹下の利  
用が出来にくい。利用方  
に依つて考え、また樹下  
栽培物に依つて適宜の植  
え方を研究されたい。四  
五年目に地上五尺、七尺  
位で摘心する。成育の良  
いものは二、三年目に摘  
心出来、植えて四五年で  
採取することが出来る。  
若い枝葉は飼肥料に利用  
出来るばかりか適度の日  
陰と湿度に依つて樹林の  
下草も良く繁茂し養鶏及

て家畜が好んで喰うもの  
である。日陰は大体全体  
の三〇％位が適當である  
。樹木の植付には利用  
上便利な様に防風林兼用  
には風向にも注意して千  
鳥型、並木型に樹種に依  
つて植える。大体十五尺  
位の間隔をおいて植える  
のが良い。餘り密植する  
と陰が深くなり樹下の利  
用が出来にくい。利用方  
に依つて考え、また樹下  
栽培物に依つて適宜の植  
え方を研究されたい。四  
五年目に地上五尺、七尺  
位で摘心する。成育の良  
いものは二、三年目に摘  
心出来、植えて四五年で  
採取することが出来る。  
若い枝葉は飼肥料に利用  
出来るばかりか適度の日  
陰と湿度に依つて樹林の  
下草も良く繁茂し養鶏及

て家畜が好んで喰うもの  
である。日陰は大体全体  
の三〇％位が適當である  
。樹木の植付には利用  
上便利な様に防風林兼用  
には風向にも注意して千  
鳥型、並木型に樹種に依  
つて植える。大体十五尺  
位の間隔をおいて植える  
のが良い。餘り密植する  
と陰が深くなり樹下の利  
用が出来にくい。利用方  
に依つて考え、また樹下  
栽培物に依つて適宜の植  
え方を研究されたい。四  
五年目に地上五尺、七尺  
位で摘心する。成育の良  
いものは二、三年目に摘  
心出来、植えて四五年で  
採取することが出来る。  
若い枝葉は飼肥料に利用  
出来るばかりか適度の日  
陰と湿度に依つて樹林の  
下草も良く繁茂し養鶏及

て家畜が好んで喰うもの  
である。日陰は大体全体  
の三〇％位が適當である  
。樹木の植付には利用  
上便利な様に防風林兼用  
には風向にも注意して千  
鳥型、並木型に樹種に依  
つて植える。大体十五尺  
位の間隔をおいて植える  
のが良い。餘り密植する  
と陰が深くなり樹下の利  
用が出来にくい。利用方  
に依つて考え、また樹下  
栽培物に依つて適宜の植  
え方を研究されたい。四  
五年目に地上五尺、七尺  
位で摘心する。成育の良  
いものは二、三年目に摘  
心出来、植えて四五年で  
採取することが出来る。  
若い枝葉は飼肥料に利用  
出来るばかりか適度の日  
陰と湿度に依つて樹林の  
下草も良く繁茂し養鶏及

て家畜が好んで喰うもの  
である。日陰は大体全体  
の三〇％位が適當である  
。樹木の植付には利用  
上便利な様に防風林兼用  
には風向にも注意して千  
鳥型、並木型に樹種に依  
つて植える。大体十五尺  
位の間隔をおいて植える  
のが良い。餘り密植する  
と陰が深くなり樹下の利  
用が出来にくい。利用方  
に依つて考え、また樹下  
栽培物に依つて適宜の植  
え方を研究されたい。四  
五年目に地上五尺、七尺  
位で摘心する。成育の良  
いものは二、三年目に摘  
心出来、植えて四五年で  
採取することが出来る。  
若い枝葉は飼肥料に利用  
出来るばかりか適度の日  
陰と湿度に依つて樹林の  
下草も良く繁茂し養鶏及

て家畜が好んで喰うもの  
である。日陰は大体全体  
の三〇％位が適當である  
。樹木の植付には利用  
上便利な様に防風林兼用  
には風向にも注意して千  
鳥型、並木型に樹種に依  
つて植える。大体十五尺  
位の間隔をおいて植える  
のが良い。餘り密植する  
と陰が深くなり樹下の利  
用が出来にくい。利用方  
に依つて考え、また樹下  
栽培物に依つて適宜の植  
え方を研究されたい。四  
五年目に地上五尺、七尺  
位で摘心する。成育の良  
いものは二、三年目に摘  
心出来、植えて四五年で  
採取することが出来る。  
若い枝葉は飼肥料に利用  
出来るばかりか適度の日  
陰と湿度に依つて樹林の  
下草も良く繁茂し養鶏及

て家畜が好んで喰うもの  
である。日陰は大体全体  
の三〇％位が適當である  
。樹木の植付には利用  
上便利な様に防風林兼用  
には風向にも注意して千  
鳥型、並木型に樹種に依  
つて植える。大体十五尺  
位の間隔をおいて植える  
のが良い。餘り密植する  
と陰が深くなり樹下の利  
用が出来にくい。利用方  
に依つて考え、また樹下  
栽培物に依つて適宜の植  
え方を研究されたい。四  
五年目に地上五尺、七尺  
位で摘心する。成育の良  
いものは二、三年目に摘  
心出来、植えて四五年で  
採取することが出来る。  
若い枝葉は飼肥料に利用  
出来るばかりか適度の日  
陰と湿度に依つて樹林の  
下草も良く繁茂し養鶏及

て家畜が好んで喰うもの  
である。日陰は大体全体  
の三〇％位が適當である  
。樹木の植付には利用  
上便利な様に防風林兼用  
には風向にも注意して千  
鳥型、並木型に樹種に依  
つて植える。大体十五尺  
位の間隔をおいて植える  
のが良い。餘り密植する  
と陰が深くなり樹下の利  
用が出来にくい。利用方  
に依つて考え、また樹下  
栽培物に依つて適宜の植  
え方を研究されたい。四  
五年目に地上五尺、七尺  
位で摘心する。成育の良  
いものは二、三年目に摘  
心出来、植えて四五年で  
採取することが出来る。  
若い枝葉は飼肥料に利用  
出来るばかりか適度の日  
陰と湿度に依つて樹林の  
下草も良く繁茂し養鶏及

て家畜が好んで喰うもの  
である。日陰は大体全体  
の三〇％位が適當である  
。樹木の植付には利用  
上便利な様に防風林兼用  
には風向にも注意して千  
鳥型、並木型に樹種に依  
つて植える。大体十五尺  
位の間隔をおいて植える  
のが良い。餘り密植する  
と陰が深くなり樹下の利  
用が出来にくい。利用方  
に依つて考え、また樹下  
栽培物に依つて適宜の植  
え方を研究されたい。四  
五年目に地上五尺、七尺  
位で摘心する。成育の良  
いものは二、三年目に摘  
心出来、植えて四五年で  
採取することが出来る。  
若い枝葉は飼肥料に利用  
出来るばかりか適度の日  
陰と湿度に依つて樹林の  
下草も良く繁茂し養鶏及

て家畜が好んで喰うもの  
である。日陰は大体全体  
の三〇％位が適當である  
。樹木の植付には利用  
上便利な様に防風林兼用  
には風向にも注意して千  
鳥型、並木型に樹種に依  
つて植える。大体十五尺  
位の間隔をおいて植える  
のが良い。餘り密植する  
と陰が深くなり樹下の利  
用が出来にくい。利用方  
に依つて考え、また樹下  
栽培物に依つて適宜の植  
え方を研究されたい。四  
五年目に地上五尺、七尺  
位で摘心する。成育の良  
いものは二、三年目に摘  
心出来、植えて四五年で  
採取することが出来る。  
若い枝葉は飼肥料に利用  
出来るばかりか適度の日  
陰と湿度に依つて樹林の  
下草も良く繁茂し養鶏及

て家畜が好んで喰うもの  
である。日陰は大体全体  
の三〇％位が適當である  
。樹木の植付には利用  
上便利な様に防風林兼用  
には風向にも注意して千  
鳥型、並木型に樹種に依  
つて植える。大体十五尺  
位の間隔をおいて植える  
のが良い。餘り密植する  
と陰が深くなり樹下の利  
用が出来にくい。利用方  
に依つて考え、また樹下  
栽培物に依つて適宜の植  
え方を研究されたい。四  
五年目に地上五尺、七尺  
位で摘心する。成育の良  
いものは二、三年目に摘  
心出来、植えて四五年で  
採取することが出来る。  
若い枝葉は飼肥料に利用  
出来るばかりか適度の日  
陰と湿度に依つて樹林の  
下草も良く繁茂し養鶏及

て家畜が好んで喰うもの  
である。日陰は大体全体  
の三〇％位が適當である  
。樹木の植付には利用  
上便利な様に防風林兼用  
には風向にも注意して千  
鳥型、並木型に樹種に依  
つて植える。大体十五尺  
位の間隔をおいて植える  
のが良い。餘り密植する  
と陰が深くなり樹下の利  
用が出来にくい。利用方  
に依つて考え、また樹下  
栽培物に依つて適宜の植  
え方を研究されたい。四  
五年目に地上五尺、七尺  
位で摘心する。成育の良  
いものは二、三年目に摘  
心出来、植えて四五年で  
採取することが出来る。  
若い枝葉は飼肥料に利用  
出来るばかりか適度の日  
陰と湿度に依つて樹林の  
下草も良く繁茂し養鶏及

児童作品

りようこう

北平小学校

三年 中本

孝

春休みの時でした。おあさんとぼくは松山へ行きました。大洲から汽車でいくのです。おあさんとときつぶを買って汽車に乗りました。その時神納の人といつしよになり分分と行くとき、おあさんがほら海が見えるよといつたからぼくは大急ぎで向うの方を見ました。青い水の中に島が見えます。その島は青島だそうす。しばらくいくと、とんねるの中へ汽車がはいりました。ぼくはときどきとしました。おあさんがこれにはトンネルだといつたので安心してました。何度も何度もしばらくすると松山駅へつきました。お母さんとおしる山を見物に行きました。さくらがさいとともきれいです。夕方です。ミルク屋へ入ってミルクをみました。おしるをおりて、しんるの大家をたすねて行きました。おじいさんは、よく来てくれたとよるこんでくればはんをいただいて、おしたは町を見物につれて

行つてあげるといわれて、色々な話をしてくれ、おそくなつたからもうねようとお母さんと二人でわどこには入りました。つれてきたのでよくね

坂本小学校

五年 松岡

彌生

寒い冬がやつて来た。北風がさわられてやつて教室のガラスまどをあけて外を見た。せんたんの大木は針の先のようなこずえをはし向いの山は黒ずんたいろ今朝通つてきた道のしももさみしかつた。さくつとくたけたしも柱のかすかな音が私の心まわりから私にせまつても私には負けないで行こう。

私達の學校

北平中学校

三年 山ノ内富枝

私達の學校は、本場に古いものです。だから強風でも吹くと、かからなくて、すこしかたむいて二階でも大げい上ると、ぐらぐらゆれて音楽などの時は二階です

私達の學校

北平小学校

三年 山ノ内富枝

私達の學校は、本場に古いものです。だから強風でも吹くと、かからなくて、すこしかたむいて二階でも大げい上ると、ぐらぐらゆれて音楽などの時は二階です

春の山小鳥鳴いてるたのしくしかな  
春雨にすく／＼のびるつくしかな  
春の山小鳥鳴いてるたのしくしかな  
私達の學校は、本場に古いものです。だから強風でも吹くと、かからなくて、すこしかたむいて二階でも大げい上ると、ぐらぐらゆれて音楽などの時は二階です

學校通信

※新入児童についての調査 (二九、三、一〇)

(一)	學校へ来ることを喜んでいますか	②①	喜んでいない	四〇人
(二)	数はどのくらいかぞえられますか	④③	喜んでいない	二人
(三)	自分の名前は書けますか	④②③	喜んでいない	二人
(四)	食べものでは何がきらいですか	④②③	喜んでいない	二人
(四)	先生に氣をつけてもらいたいのくせがありますか	①②③	喜んでいない	二人

(調査人員 四二人)

寄附者名簿	河辺小学校分	寄附者名	昭和二十七年卒業生
寄附金品	校下有志	内訳	
花立	10,000	3,000	時男氏
風景画及額縁	1,000	3,000	藤原氏
		1,000	藤沢忠三氏
		1,000	大伴秀三氏
		1,000	大松三郎氏
		1,000	長岡繁雄氏
		1,000	智葉氏
1,000	鴨谷伊崎	長作氏	氏會
3,000	河辺村婦人会	第一分會	氏會
大時計	北平林	直早人會	氏會
平釜	上大成	婦人會	氏會
2,000	河辺村婦人会	第一分會	氏會
低鉄棒	椽谷松岡	松太郎氏	氏會
やかん	日の平	帽子茂	氏會
〃	日の平	船末部	氏會
方眼塗板	椽谷大	成部	氏會
湯呑	日の平	成部	氏會
雨傘	上大	成部	氏會
水タンク	下大	成部	氏會
大寒暖計	鹿野川	和氣	正氏
顯微鏡	昭和27年度	河辺小職員	一同

# 本流

七五三滿

「本流」という題でしばらく書かないか、とのお勧めである。前號の執筆は二年も前のことで、その頃にはこうした題にも多少の意義があつたかと思うが、今でも強いてこじつければ、この村の流れが肱川の本流に合してゆく心持を托しているとしてもいえるであらう。

日刊新聞の上で同じ題下に筆をとつている例はなかなか多い。少し古いところでは、高田保氏の「プラーリひようたん」で

題名そのものが高田氏の風格にも、文のスタイルにも極めてふさわしいものであつた。今まとめられて三巻を讀んでみても第二の保ちゃん無き寂しさにたえない。

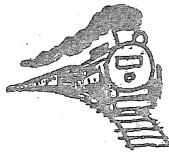
大宅壯一氏の「蛙のこえ」は余り讀んでいないが、たま／＼目にふれたものでも氏の博識と縦横の才がうかがわれる。

「天聲人語」と「視滴」とは寸鉄界の雙璧ともいふべきであらうか、わたくしは「朝日」をみているが、釈瓢齋の昔からこの欄への愛着は深い。現在の荒垣秀雄氏の、問題のとらえ方、(その視野の廣さ)文章の切れ味、

皮肉、辛辣、ユーモア、等々には殆ど感嘆の言葉を知らないほどである。いくら辛辣でも文の背後ではいつも筆者の澄んだ眼があた／＼かくほ／＼えんでいれる。

これに較べるとある地方新聞の、交互執筆らしいものは、第一、一貫した個性が感じられなくて迫力が弱い。

月刊の中でも同一標題での連載物は時々見受けられるが、期待をもつて讀まれているのは少いのである。まゝは凡そ論外である。  
(昭和二九、三、二〇)



## 靖國神社参拜の記

船田

三月十日午前五時三十分大洲驛集合内山支部長の指揮下に入る。既に川下區をのぞいた地区の遺族はほとんど集合し班の編成に多忙をきはめ胸章をつけた遺族の人達で待合室は一

杯である。郡内参拜者五十五名を

四班に分け第一班大洲町(係地方事務所奥野主事)第二班中央川上山内山の一部総員十二名(係船田書記)第三班内山区(新谷村西沢書記)第四班川下區(楠生村竹本書記)編成を終る。

本村よりは百合谷の奥平石三郎氏旭の堀内サユミ氏が参加せられ御被村

の西沢氏以下二名が松山より團體に加入せられるの外全員集合、山内支部長の旅行に關する心得等につき注意があり六時大洲發普通上り列車に奥野主事の掲げる喜多郡遺族會の會旗を先頭に乘込む途中長浜まで川下區の参拜者をひろい午前八時二十分松山驛着、松山より特別臨時列車に乘換え西沢氏の団体加入で郡内五十五名の参拜者全員の集合を終る。支部長より各人名を記した氏名標の配

語漫蔭綠

日本で神の行

男女の配給

は?

▲世は民主義時代であ

付を受け支部長以下迷子にならんよう右の胸にシツカとピンでとめると見事な姿になる。

午前九時松山驛発車高松棧橋に向う。松山以來の参拜者がまだのり込でゐないので車内は廣い。第一班から順次座を取り一区割四名ずつゆつくり座を取り車窓に廣がる風光に見る。

静かな瀬戸の海、緑の麥畑、春の旅は楽しい。小松附近に近づくとき白雪におおはれた石槌の山が偉大な容姿をあらはす。縣境川の江駅で縣内参拜者の乗車が完了すると列車は急行に切り替へられ、香川縣をとつばしる香川縣に入ると山の形ちまで伊予と違ふ。角ばつた姿から次第に丸みをおびた形に変わる何かのんびりとした感じである。坂出駅附近になると幾組の四國編路がいかにものどかそうに、青や白の布のたれを編がさの下からヒラ／＼させながら春六面に續く

り、民主義が多数意見尊重主義と解するなれば、男と女の作つてゐる社会ではどちらが勝つのか? 統計局の調べによると昭和二十三年の人口は、男三九三六千人女四〇八五千人で女の方が一四八五千人多い。先ず愛媛縣の人口(一五二二千人)位女が全國では多い。数で争うことになれば、男は全く勝目のない戦だ。でも女代議士が少いのは何故であらう。曰く女性は教養が低い。政治的手腕がない等々要は人物拂底なのが原因だ。女代議士は少くてもよい。女權を尊重する主義政策をもつ代議士が果して何人出ているかが問題だ。もう少し日本女性には政治的に目ざめなければ駄目だ。

統計局調では昭和十九年から戦争のため急に男が少くなり、女に急人対し男九十人、二十三年では男が九十六人と男が九十九人、配給が次第に多くなり男人口問題研究所の推定では昭和二十三年には男四六八三七千人女四八二二三千人となつ

ており、その後の事は推定してないが、おそらく昭和六十年頃までは男女同数とならないであらう。

▲所が女が多い結果は女自身に幸福をもたらさかと言ふと、それは又期待に反する。過剰女性の有ることは商品性の衰いがあつた。下すの衰いがあつた。

▲今時女性は相当職場に進出してゐる。但しその職場を、中に檢討して見ると、中には怪しからん職場に女はうよ／＼してゐるのだ。よ女性に過剰人口の三分の一に相成る算用、思へば不思議でもあり悲しくもなる。

▲いゝゆる夜の毒華と化してなす商賣人が巷に氾濫すると、その結果は浮世を恐るゝし害毒を流す。女は自身で墓穴を掘る事ともなる。女性同志の相コク摩察人権は尊重されず、風規はピン乱男女は骨抜きになつて了う。

▲過剰女性故に斯くなることは言わねば、日本の家族制妻社会制度農村經濟の貧弱さ、道德教育の不足等々數え切れぬ原因が有るが、現の数の差も否定する事は出来ぬ。

▲さて全知全能の神でさえ、戦争は予算のわさ内、内戦は予算のわ日本での男女配給は困難と見える。

T N 生

五面より

の陽を一ぱいに浴びて用水池の土手道を彼方の村に向つてのろ／＼と動いている。御詠歌でも聞えそうなのんびりとした風景である。

午後二時高松棧橋着、會旗を中心に雑踏する連絡船に乗りこむ。船内は既に先客のため占領せられているので那は船尾の一ヶ所に場所を取り腰をおろす。船内の賣店からお茶を取り班の人達と湯をいやすが寒さが身にしみる程だ。二時十五分船は静かに棧橋を離れる。

ドラの音、五色のテープ出船は不思議に旅愁をさそうものだ。海の珍らしさ私達は船尾のテスラにもたれて離れゆく高松の街をのぞむ。よく晴れた青い空にアドバルーンが残りか城型の(やぐら)が近代ばなれの姿もかすんで見える。

幾組ものカモメが可愛いが、船でチチと鳴きながら野港に入港する。宇野港の附近に近づくとき赤黒い地肌を見せはじめる製鐵工場の煤煙の害だ防ぐため山肌を引く。浮たように見える。三時二十分東京直通遺

族専用列車に乗りこむ。

郡割当人員が予定より五名超過しているため指定席が不足。宇野より(こさ)を通路にしき一應座を取る。岡山より廣島縣の遺族会と合流、七車輦増結された列車は薄暮の岡山を出発する。夜に入り車窓の風物は次第に私達の眼界から闇の中に消し去つてしまふ。

姫路も夢の間に過ぎ神戸の近くで目をさます。見えないネオンの街に車内しばし騒然、三宮を過ぎると大阪だ。十時半過ぎると大阪だ。十時半過ぎると大阪だ。十時半過ぎると大阪だ。

大阪の夜はまだ活気に動いていよう。大阪の夜はまだ活気に動いていよう。大阪の夜はまだ活気に動いていよう。

大阪の夜はまだ活気に動いていよう。大阪の夜はまだ活気に動いていよう。大阪の夜はまだ活気に動いていよう。

大阪の夜はまだ活気に動いていよう。大阪の夜はまだ活気に動いていよう。大阪の夜はまだ活気に動いていよう。

大阪の夜はまだ活気に動いていよう。大阪の夜はまだ活気に動いていよう。大阪の夜はまだ活気に動いていよう。

大阪の夜はまだ活気に動いていよう。大阪の夜はまだ活気に動いていよう。大阪の夜はまだ活気に動いていよう。

大阪の夜はまだ活気に動いていよう。大阪の夜はまだ活気に動いていよう。大阪の夜はまだ活気に動いていよう。

むつてしまふ。

名古屋も夢の内誰れか「富士だ富士が見える」という聲で目をさます。黎明の彼方に突にクマキリと富士が見える。車内ほとんども總立で窓に顔を寄せ拍手を打つてゐる人達もいる。明るくなるに左に形をかえて青く澄んだ朝晴れの空に神々しい姿を見せる。沼津を過ぎる頃八合目附近に薄い雲の流れが絵筆でかいたように現れるがその雲もいつか消えていつまでも私達を歓迎してゐるかのようである。

大洲町の或るおばさんが「私は何回となく此処を通つたがこんなに美しい富士を見たのは初めてだ。有難いことですわい。」と話しておられる。

沼津附近になると鉄道の両側に美しい茶畑があちこちに見える。麥もかびて四國の麥よりはるかによく伸び、何だかかんなびりとして温かそうな気がする。

沼津を過ぎると進行方向右下方に熱海の海岸が姿をあらはす。一寸別府を思はずような街である。川崎市を過ぎるといよいよ東京都内に入る。武蔵野の原でもあろうか、

よく整地せられた松林の

あちこちに文化住宅や近代的な明るいアパートなどが目につく。九時二十八分東京着、下車ホームに於て人員の點呼異状なし。大川の梶原さんが少し汽車酔いのため顔色がすぐれないが、他は全員元氣、奥平氏も堀内氏も至極元氣である。

一同は飯田橋行電車に乗換るべく地下道を出て中大変な人の行き來で地下道は大変な雑踏、前進も後退も出来ぬ。御社の御社のおまはさんで命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

社前の廣場は他縣遺族会の

遺族の人達で一ぱいでどつたがえしている。神社横の休憩所は島根縣の遺族會がしめ昇殿参拜がすむのを待つて本縣の遺族會が入替る。玉砂利の上につくつた急造休憩所に腰をおろし故郷より持参の晝弁当を開き社頭対面の一時を待つ。

春の陽がサン／＼と降りそそぎオーバなど着ていられぬ程のあたりにかざり、それでも本殿下のかげりに残る雪を見ても真一寒さはあらぬ。おまはさんで命に取つたか。前段を命に取つたか。

命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。前段を命に取つたか。

殿横の階段を昇り拜殿の

廣さ、全國青年團の寄贈による、とてつもない太鼓驚く外はない。ます神官の清めの祓いが終ると神社代表の挨拶があり、団体は幾組にも分れて本殿に昇り懐かしい夫、我が子に對面するのである。

喜多郡は第四回目に拜殿に昇る薄闇の本殿の正面には壺を表徴する大鏡が神々しくきらめき、寂としてこぼかりは別世界のような重々しい空気がたゞよう。

薄闇い神前で神官がおごそかに申す。「これから皆様お待ちかねの御對面を御座います。懐かしい御主人やお父さん子供さんにゆつくり面会をして戴きたい。苦しい長い年月の間の出来ごとや申上げねばならない数々の思いを申上げて懐かしい對面をして戴きます。」

人々は静かに眼を閉じ頭をたれて無我の境地に入らる。肅として聲もないしばらくするとあちらこちらでか細い鳴咽の声も聞える。

嚴肅の一時である。約五分間神宮より別れの時の來たるを申渡されはつと八面に續く

八面に續く

### 住民登録について

戸籍係長 藤原

役場の戸籍事務の中に住民登録という新しい事務が生れたのは昭和二十七年七月一日でした。この事務は我が國で従前施行されていなかった寄留制度に代つて出来た事務とも云えるのであります。従前の寄留制度はただ本籍外に居住するものについてのみ適用され、本籍と同じ一地内に居住するものにはその適用がなく、しかも同制度は手續の煩雜等のため一般には余りその届出が励行されず、市町村とその住民との關係を明確にする資料としては甚だ不完全なものであつた訳です。そこで従來の寄留制度の不備を補つて法的根拠を興え、市町村とその住民との關係を明確にし、それに公簿としての公證力を興えて市町村並びにその住民の利便に資そうとして生れたのが即ち住民登録制度なのであります。この制度の創設的な制度だけにまだ住民の皆さんからの協力が薄く、従つてその届出が励行されていない向が多く、市町村は素より皆さんの利便にも尠なからず支障を興えているのであります。これは單に本村のみではなく、全國的な傾向らしくして甚だこの制度の前途を憂慮されるのであります。住民各位が一日も早くこの制度を住民のものにしていただき、市町村との關係を明確にして相互の利便を図りたいものであります。左に届出を要する三つの届について説明を加え、皆さんの御協力を得たいと思つたのであります。

一、轉入届(法二十二條) あらたに市町村の区域内に住所を定めた者については住所を定めた日から十四日以内にその市町村役場に轉入届をしなければならぬ。

(参考) この届は例えは今まで、河川村に住所をもつていて、あらたに河川村に住所を移した場合には河川村に届をしなければならぬのである。

二、轉居届(法二十三條) 同一の市町村の区域内で住所を変更した者については新住所を定めた日から十四日以内に轉居届をしなければならぬ。

(参考) この届は今まで

過去三ヶ年の生死婚姻の模様 戸籍係 力石

年 別	出生		死亡		婚姻	離婚	率
	男	女	男	女			
26年	94	99	42	21	82	6	7%
	計	193	計	63			
27年	68	80	31	29	53	12	23%
	計	148	計	60			
28年	82	76	23	29	59	6	10%
	計	158	計	52			
合計	244	255	96	79	195	24	12%
	計	499	計	175			

神納部落に住所をもつていた者があらたに川崎部落に住所を移した場合には届をしなければならぬのである。

三、變更届(法二十四條) 住民票の記載事項に變更を生じたときはその變更を生じた日から十四日以内に變更届をしなければならぬ。

(参考) 世帯主だけがあらたな世帯に移動した場合又は世帯主が死亡した場合等世帯主が変更があつた時、及び今まで世帯が二つに分れた場合等に届出をしなければならぬ。

【注意】以上説明をしたこれらの届出を怠つた場合は法三十一條の規定により五百円以下の過料に處せられることになつておきます。

【藤原】

本年一月

【出生】

榎川 中野めぐみ  
日除 野次悦子  
横山中 藤田美保子  
熊野貞子  
熊之坂 高田  
神納 菊内  
旭川 明博  
竹之瀬 山本 宏典  
神成 上岡 政繁  
大納 森川 盛久  
天松 石本 清光  
植松 梶谷 京子

【出生】

坂川 山本 景子  
中居 五本 護  
成渡 岡邊 増夫

### 保温折衷苗代を勧む

二宮 技師

土佐は良いとこ南をうけて年にお米が二度とれると歌つたのは昔で今では關西地方ならどこでも二期作が奨励されていて大川、菅田、天神と相当の成績を上げています。そこで河辺村でも出来るかと問題になるが絶対出来るかといは言えない。しかし第一期は必ず出来るが第二期に於ては七割以上が稔実しないことは明かである。そこで三年に一回二期に於て失敗すれば二度作りは経営がたふさないことになる。こんな不安な稲作りよりも確實な保温苗代により増収することをお勧め。保温苗代は昭和二十二年以來各地に実験され其の成績はすばらし成功している。昭和二十六年久万町で三月三十日播種して三、一四石とれ普通苗代では二、四八石で六斗六升の増、又二十七年竹之瀬今城守氏、名場連本龍氏は普通苗代と比較して二割以上増収は確實だとされ、居り、住見俊春兩氏も亦二割三割の増収だつたと話されている。

以上のやうな好成绩を見ていることは事実で二十七年約六斗歩二十八歩以上が保温となり協同組合も紙の世話に多忙である交付される補助金も引續き交付される事になつています。苗代の作り方は普通苗代のように牛をよ入れてすきかきして土をよく整へらし播種前日水を落しておく、之を成る可く長く短冊形に区切る(紙の長さ九〇尺×四尺二寸)短冊(播種床)と短冊の間を八寸溝として溝の土を播種床へ上げ階溝とする。播種床の土を板コテ等で良く整地する、その上に施肥しよく土と混ぜる。肥料は配合でも油粕、硫酸、過石等を配合して差支えなく肥料の種類によつて差はあるが大体坪当り三〇〇〇〜四〇〇〇位がよい。其の上には下種する。播種は坪当り浸漉一、五合と二合迄で必ず厚蒔せぬ事である。一反歩に要する種量は一升五合と二升もあれば多少余る。下種した上に細土で覆土(五分位)すると一層よいが土が得がたいときは再び種の上をなでて

四画へ続く

七 準備より

よく種を土の中へすり込む。其の上に保温紙(油紙)を覆う。播種床の週囲へ約一尺位の竹又は木を立て之になわをかけて油紙の上をおさえる。水は踏切溝の中のみため播種床へのらんように注意する。のやうにして約十五日間管理する。気温によつては苗が一寸二分、一寸六分位に伸び葉が三枚目の出だした時油紙を取除き後は普通苗代と同様の管理とする。苗代日数は四〇日、四五日で完全に熟苗となる。四月中旬下種し五月下には植付が出来る。保温紙を用いれば晩生種も中生となり五日間位熟期が早くなる。稲熟病や其の他の病害にも強くこの方法でやれば二、三割の増収は保険付きと言つても過言であるまい。

村議會議員名

- 【議長】 古梅 貞道
- 【副議長】 梶谷 久満
- 【議員】 五頭 安五郎、高橋 武夫、藤原 恒廣

入學案内 河辺村教育委員会 高橋 大蔵  
昭和二十九年度村内小中學校入学式を左記の通り挙行されますので保護者各位は入学児童生徒御同伴の上御参列下さるよう御案内申上げます

學校別	入学式日時	入學児童生徒數	
		男	女
北平小學校	四月八日午前九時	二五	一八
坂本小學校	四月八日午前九時	三一	三八
河辺小學校	四月八日午前九時	二二	二一
北平中學校	四月九日午前九時	二〇	二六
河辺中學校	四月九日午前九時	二八	二九
計		一二八	一二九

村民の聲をまっ!

館報第二号をお届けするに当りお願いいたします。(一)どうか、みんなでお読み下さい。(二)その御感想をおきかせ下さい。(三)御自由な立場において色々な御意見を、およそ四百字(用紙はさしあげます)ぐらゐに

公民館講座御案内 (一)日時 四月、第三土曜午後一時の予定です。が、特に御希望の方はすこし前に役場あて御照會下さい。御連絡します。(二)題目その他、だいたいの前回の連続につき短歌作品をお寄せ下さい。追加行事もあるかもしれません。(幹事)

活花のおけいこ

毎週七曜日 午後一時～四時 講師 大越幸洲先生 流派 嵯峨流 会場 植松 和氣絹子さん宅 主催 公民館 多数御参加を待つています。川崎、北平地区でも十名以上会員が出来たらいたしますから、婦人会長さんでまとめて下さい。

編集後記

○第二号編集に当つて先ず考へる事は、第一号の反省如何にと言うことであつた。所が他村の館報の例の如く、キヤツと言う程の批判も指摘もないのでアングリ無沙汰に終つて了つた。只「猫よりまし

」で一人だけ一氣合入れた方があり、例のグリ／＼目を頂戴に及んだが、それは当はずれの鯛もあつたまで。○讀まれる館報 之をモットーに、肩がこり、字引きが入る事のない様に努めているが仲々むつかしい事に属する様だ。私達の方で一しを勉強するこ

とにしたい。○筆は大胆卒直に 而も真をうがっていないければぬうちがない。筆者は皆その責任に於て投稿されており、原稿の主眼主張を變える場合は投稿者のお許しを得て訂正しているから、この点を明にして

おく。○館報は役立つか 立たないかそれは館報そのものの善悪と、讀者の如何にもよる事だが、まだ批判の時期でないにしても、ぼつぼつ検討の必要もある。○次号からは四頁 一、二号は八頁としたが四月号よりは四頁とする。原稿の都合で八頁もいとわれないから大方の御投稿をお願いす。 編集局より

六面より続き 我れにかえる。心なしか神前の鏡が細くゆれ動いて神々達も又遺族との別れをおしむかのようにある。別れがたい遺族の方達は後髪をひかれる想で本殿を静かにおりてミコ

のさし上げる神酒を戴き休憩所にもどる。他縣團體の遺族が順待ち休憩所は大こん雑である。社務所も人の山、中に御札を受けることも出来ぬ始末。記念撮影を終ると一同はバスにのり、指定旅館新宿区四谷坂町栄進館に向う。喜多郡は榮進館分館(四谷寮)旧陸軍士官學校のよく見える部屋に落ちつく。

疲れが急におそいかかりました。いきじのない話しどつとブツタオレてしまいたい気持ちであるそれにひきかえ班の人達は全員元氣。おやぶの二宮氏と奥平氏私の三人が残留、他の人達は山内支部長の案内で銀座方面の見物に出られる。二宮氏と私は旅館の近くの銭湯を訪ね旅の疲れをおとすと旅館に帰り二階の一室に横になる。と前後不覚深いねむりに落ちてしまつた。